



社会福祉法人武蔵野会 きね川福祉作業所 広報誌

ゆいかもめ

第38号

発行日 2020. 02. 20

～自分を愛するようにあなたの隣人を愛せよ～



令和元年度 クラブ発表会の1コマ

【目次】

表紙（クラブ発表会の1コマ）	1
施設長のつぶやき 総合防災訓練	2
GENKIまつり 歯磨き指導	3
忘年会 新年会	4
みんなのページ	5
支援実践報告会 今後の予定	6



社会福祉法人武蔵野会

きね川福祉作業所

施設長 大和田 卓

東京都葛飾区東四つ木3-8-10

電話 03(3694)1577

FAX 03(5698)1757

E-mail: kinegawa2939@coda.ocn.ne.jp

<http://www.yurikamome.info/>



施設長のつぶやき

施設長 大和田 卓

社会福祉法人武蔵野会の理念は、「自分を愛するように汝の隣人を愛せよ」ですが、やや抽象的な言葉なので、支援現場でこれを具体的に生かすために5つの行動規範を明示しています。これは、「支援介護の基本ブック」としてまとめられ、職員に配布しています。葛飾区内で社会福祉法人武蔵野会が経営する施設が4カ所あります。特養や生活介護事業、就労継続支援B型と事業種別は異なりますが、研修や地域行事参加など連携して実施しています。この4つの施設の正規職員が、5つのテーマから1つ選んで自分の実践をもとに執筆し、マイ支援介護ブックを作成しました。それぞれが、自身の実践体験を意味づけし、反省や他職員へのメッセージ、職員としてのあるべき姿などを書き連ねています。読んでみると、感動させられるものが多数ありました。

ややもすると現在の福祉サービスは労働の対価としての金銭で産出できることを目指し、時間を主に金銭換算されていきます。しかし、我々の仕事は、感性や情意が実際のサービス提供時に大きく影響します。人の存在や感情の基礎としてある、一人一人の生活してきた環境や状況をくみ取っていくプロセスを大事にしたいという職員の思いは報酬対価につながりづらいのが現実です。また、現在、8050問題や生活困窮、社会的孤立、介護離職など、制度だけで支えられない福祉ニーズが山積しています。経済的対価という考え方から脱却しないと福祉の未来はなくなるのではないかと思います。

経営理念いかんでは、利用者不在の支援を促進する可能性も出てきてしまいます。だから、理念は大切で、ぶれない理念と全職員の共有化は言わずもがなです。そのアクションの一つとしてのマイ支援介護ブックの作成であり、この後、全職員に配布し互いに触発されれば幸いです。職員は、心のゆらぎや失敗体験もあります。しかし、そこから得るものは少なくありません。現場の経験年数に比例して、より深い気づきを得ます。利用者等から教えられ、同僚や先輩、上司からの助言から得たものもあると思います。我々の仕事は、簡単なものではありません。しかし、壁を乗り越えたときの感動はひとしおです。今後とも共に切磋琢磨して実践を重ね、感動を共にする仲間を募っています。福祉が今後の市民生活の未来を作っていくものと思います。福祉職場の4Kは、感動、幸福、希望、感謝です。それを共にする福祉実践の仲間を募集しています。



総合防災訓練

去る1月31日（金）に、社会福祉法人武蔵野会の全施設が一斉に総合防災訓練を実施しました。きね川福祉作業所では、降所前にマグニチュード7の大規模広域地震が発生したという想定で、午後4時から25分ずつ3つのフェーズで、「帰宅困難利用者に対する初動訓練」、「災害本部立ち上げにおける事務員の初動訓練」、「災害本部立ち上げ初動訓練」を順に実施しました。被災当日はご家庭でも被災しているので、利用者の引き取りは家庭の受け入れ準備ができてから実施するというルールにより、作業所に利用者が宿泊することを前提に実施しました。今回の訓練は、準備に時間をかけ、新任職員でも慌てずに進行できるスターターキットを作成しこれに沿って少ない職員数でも訓練ができたことです。

各施設から防災委員が選出され、各地区の防災委員が分担して施設種別のスターターキットのモデルを準備し、これからそれぞれの施設の状況に合わせたスターターキットを作成しました。入所支援系施設では夜間想定初動訓練、生活介護系施設では送迎中想定初動訓練、就労支援系施設では帰宅困難想定初動訓練を施設種別共通の内容です。

実施してみて、建物の点検、近隣の延焼確認、防災備品の搬出などの手順や動線が非効率であったり、ランタン等の防災備品が不足していた等と数多くの反省点が上げられました。早い時期に、スターターキットの修正や防災備品の整備を進め、防災訓練を重ねるたびに精度を上げていきたいと思います。



ゆいかもめ

GENKIまつり



9月28日（土）にきね川福祉作業所所内でGENKIまつりを開催いたしました。近隣の学校の運動会と日程がかち合ってしまう、多くの方々に来て頂けるか心配しました。

しかし、かわいい犬たちと触れ合える「アイリス」さん、脚本・舞台など全てを自分たちで行い、人形劇を披露してくださった「早稲田大学児童文化研究会」さん、風船を使って様々なバルーンアートを実演してくださった「バルーンアート霜田」さんなどのアトラクションで所内は大いに盛り上がりました。また、焼きそば・磯辺焼き・フランクフルトなどの模擬店や他施設販売、射的・輪投げなどのゲームコーナーにも沢山の人が賑わい、楽しいひとときとなりました。恒例のかりんと饅頭の販売も大好評でした。

GENKIまつりに関わって頂いた皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

（臼田）



歯磨き指導



10月11日（金）矯正歯科加藤医院の加藤歯科医師による歯磨き指導を行いました。加藤先生には年2回歯科検診をお願いしております。

今回の指導では、歯磨きの重要性やポイントをわかりやすくアドバイス頂きました。また、定期的に歯医者さんに診てもらうことの大切さを教えて頂き、とても参考になった歯磨き指導でした。（臼田）



ゆいかもめ

忘年会・クラブ発表会

2月26日（木）、忘年会・クラブ発表会が行われました。午前中は映画鑑賞等を楽しみ、昼食はいつもと違うデリバリーメニュー。華やかに飾り付けられた中で食べる昼食に利用者さんたちも大満足。午後にご家族も参加され、クラブ発表会です。創作クラブ、スポーツクラブ、音楽クラブに分かれ、日頃の活動の成果を披露しました。最後は家族会で用意して下さったケーキをみんなで美味しくいただきました。

今年も実行委員の皆さんがデリバリーのメニューを決めたり、事前の買い物、プレゼントの準備も一緒に行っていただきました。当日もクラブ発表会の司会や挨拶、乾杯など活躍して下さった実行委員の皆さんお疲れさまでした。（五代儀）



新年会

1



月17日に新年会を開催しました。

例年の抱負発表、福釣りゲームに加え今年はザ・マジックさんによるマ

ジックショーがありました。空っぽの筒から何枚もの1億円札が飛び出したときには「おお〜!」「すごーい!」という驚きの声と共に大きな拍手が上がりました。会の後も「また来てほしいね。」「すごかったよね。」と声が聞こえてきました。

福釣りゲームでは正月のイラストを釣り、おみくじを引きました。今年はお寿司型の消しゴムがおまけで付いていました。おみくじの結果をみて「やった〜!」「健康に気をつけなきゃいけないね」等とみなさん楽しそうに話していました。

作業中の真剣な表情とはちがう表情をたくさん見ることができ、とても賑やかで楽しい雰囲気の新年会でした。今年もいい年になりますように！（石黒）



みんなのページ

みんなのページは
利用者さんが担当するコーナーです。

38号は10月に行われた自治会役員選挙、12月の区役所販売、2つのテーマについて取り上げる事になりました。

事前に担当で話し合いをし、原稿を依頼する、インタビューをするどちらの形にするかを話し合い原稿を依頼する事になりました。

原稿依頼を用意する人、依頼文を利用者さんに手渡す人と役割分担もしました。



皆で話し合い役割分担を決めました

自治会役員選挙



10月に行われた自治会役員選挙で選出された役員4名の方に意気込みを伺いました。

4名の役員は1月24日の利用者タウンミーティングでも意気込みを発表されました。

多さん（会長）

僕は、みなさんと一緒に楽しいタウンミーティングにしたいです。よろしくお願いします。

安蒜さん

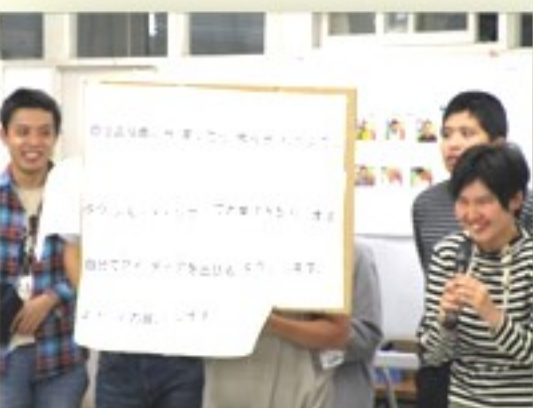
自治会役員決まった時とてもうれしかったです。一生懸命頑張りたいです。

岩上さん

みんなの意見を取り入れながら頑張っていきたいと思います。きね川福祉作業所をみんなが楽しい作業所にしていきたいと思います。

渡辺さん

はじめての役員です。一生懸命頑張ります。お願いします。



区役所合同販売会



12月18日（水）に葛飾区役所区民ホールで行われた区役所合同販売会に参加された利用者さんに感想を伺いました。

松下さん：区役所販売は2回参加しているのですが、1回目も2回目も完売してとてもうれしかったです。特に混む時間帯がやはりお昼どきで、少し忙しいです。ですが、やりがいのある事なので、また区役所販売には参加したいです。

高野さん：たくさんの方が買ってくれて予定より早く売り切れました。釣り銭の計算も上手くできました。



販売に参加した職員：当日は区内の福祉作業所が多数参加され会場は大賑わい！かりんと饅頭目当てに来場して下さった方もいて昼過ぎには完売となりました。販売に参加した利用者さんも明るく元気な声で接客していました。

支援実践報告会



2月1日葛飾シンフォニーヒルズで、社会福祉法人武蔵野会葛飾地区の西水元あやめ園・東堀切くすのき園・白鳥福祉館・きね川福祉作業の職員約50人が集まり、実践事例報告会を行いました。各施設の担当職員が支援の取り組みを報告し、会場から質問や意見、感想等の質疑応答が有り、最後に理事長と本部長から講評がありました。

きね川福祉作業所からは、「自分たちの事は、自分たちで決める」をテーマに選挙で選ばれた自治会役員が毎月行われるタウンミーティングの内容の事前打ち合わせから司会・進行等を運営している事、そして各行事担当の実行委員も利用者さんに希望を募り、当日の係だけではなく、企画内容等事前準備までを主体的に係わって行っている事を紹介しました。特養、生活介護、就労支援と各施設の対象利用者は異なりますが、利用者さんに対する支援への姿勢や気持ちは共通していると改めて感じ、他施設の実践に触発された次第です。(稲留)



今後の予定

令和2年



2月

21日 グループ外出

3月

2日 ウィメンズパル販売会 ※
6日 利用者外ミーティング
13日 家族会
18日 ウェルピア出張販売会 ※
31日 慰労会

※印 かりんと饅頭の販売予定です



ボランティアを募集しています！

年間を通して作業のお手伝い（軽作業・公園清掃）や、クラブ活動の補助（スポーツ・音楽・創作）、または行事（外出、旅行お祭り等）のお手伝いをして頂けるボランティアを募集しています。曜日や時間帯、活動内容等で希望がありましたら、お気軽にご相談下さい。（担当：石黒、早川）



編集後記

令和になって初めて迎える新年に、気持ちを新たにしたのもつかの間、もうすぐ2月も終わりを迎えようとしています。まだ寒さに震える日もありますが、春が待ち遠しい季節になりましたね。みなさまが元気に笑顔で新年度を迎えられますように。



(1)

後援会ご協力をお願い

社会福祉法人武蔵野会が経営する26施設の利用者のためによりよい環境や施設の充実・施設の円滑な運営などを物心両面から支える組織として、武蔵野会後援会があります。皆様のご理解とご協力により会の拡大をはかり、法人の運営基盤の確立を応援していますので、ご協力お願い申し上げます。

武蔵野会後援会事務局

〒192-0083 東京都八王子市旭町12-4

日本生命八王子ビル2階201

電話 042-631-6341